

会議録（要点筆記）

会議名	第3回 橋本市新庁舎整備検討委員会	
日時	令和7年12月23日（火）午後2時00分～午後4時00分	
出席者	委員	濱田委員、川角委員、中西委員、笹井委員、西井委員、大西委員、岸田委員、乾委員【出席委員：8名】
	事務局	総合政策部 井上部長 政策企画課 辻本課長、城野課長補佐、岡浦係長、大萩主査 (策定支援業者：(株)ニュージェック)
公開状況	公開	
傍聴者	1名	
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 第2回整備検討委員会の主な意見と反映</p> <p>(2) 八幡市視察について【報告】</p> <p>(3) 浸水対策の方向性について</p> <p>(4) 今後の進め方について（第5章）</p> <p>(5) 基本構想検討案（第1～4章）</p> <p>3. その他</p> <p>パブリックコメントの実施</p> <p>次回の議事（予定）と開催時期</p> <p>4. 閉会</p>	
資料	<p>資料1 第2回橋本市新庁舎整備検討委員会への反映・対応</p> <p>資料2 八幡市視察記録</p> <p>資料3 浸水対策について</p> <p>資料4 第5章 今後の進め方（検討資料）</p> <p>資料5 橋本市新庁舎整備基本構想（検討案）</p> <p>参考資料1 浸水区域内・複合化庁舎事例一覧【再掲】</p> <p>参考資料2 浸水区域内・複合化庁舎事例抜粋版</p> <p>参考資料3 PPP手法による庁舎整備事例</p> <p>追加資料1 候補地抽出の考え方・現庁舎敷地について</p> <p>追加資料2 第4章更新版資料</p>	
会議録記名	委員長：濱田 學昭 記名委員：川角 典弘、笹井 道信	

1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶、資料の確認。
- ・7名の委員出席により会議成立の報告。(1名途中出席：計8名)
- ・本日の議事について公開することが決定し、傍聴者1名が入場する。
- ・会議録記名委員について、川角委員と笹井委員が委員長から指名される。

2. 議事

(1) 第2回整備検討委員会の主な意見と反映

(事務局から資料1、4に基づき説明)

- ・意見等特になし

(2) 八幡市視察について【報告】

(事務局から資料2に基づき説明)

(3) 浸水対策の方向性について

(事務局から資料3、参考資料1、2に基づき説明)

【主な意見】

- ・浸水時間後、すぐに元通りになるわけではなく、車等が流れてくる、火災発生などを想定する必要がある。
- ・八幡市では利用が多い窓口をフロアに集めているが、やはりワンストップ化は非常に重要なポイントであるため、今の技術では難しい部分もあると思うが、建設まで検討を進めて欲しい。
- ・ワンストップ化は窓口における需要が異なりすべてをワンストップ化するのは難しいため、8・9割がワンストップ化ができれば良いと思う。橋本市での窓口の需要があるかを把握した上で、整理・類型化を行い、窓口の在り方を検討するのが良いと考える。
- ・地域発展のための新しい要素をつくる場所がないため、新庁舎を他の場所につくり、現庁舎跡地に新しい用途のものをつくった方がこの地域に新しい動きが生まれるのではないかと思う。
- ・新庁舎が新しい顔としてどのように機能していくかを考えたときに、現庁舎の場所が中心となって機能するには土地が狭く難しいのではと思う。
- ・狭い土地であっても階層を増やし、市民の利用が多い窓口を下階、利用頻度の低い窓口を上階に配置することで、執務空間を今よりも広くとることができ、仕事もしやすくなり、市民への対応も良くなると思う。
- ・災害時の拠点となるためには道路が整備されている場所、または整備が可能な場所であることが非常に重要。交通状況からみると防災拠点とするには現庁舎敷地は適していないと思う。

- ・さつき台の南側で民間事業者が複合商業施設等を検討している場所であれば、国道 371 号に直接アクセスできるのではないかな。
- ・民間が主導しているプロジェクトは収益化が目的となるため継続性など留意する必要がある。
- ・新庁舎を整備することで橋本があたりしく変わったと思ってもらえるようにすべき。

(4) 今後の進め方について (第 5 章)

(事務局から資料 4、参考資料 3 に基づき説明)

【主な意見】

- ・今後市民にアピールするには、どのような庁舎をつくるのか、目指す方向性が分かるような言葉が必要。

(5) 基本構想検討案 (第 1～4 章)

(事務局から資料 5、追加資料 1、2 に基づき説明)

【主な意見】

- ・今後の検討事項でアクセス性の向上とあるが、アクセス道路の確保、コミュニティバス便数や停留所など来庁しやすいようにする必要がある。
- ・道路整備は長期的に捉えて国道 24 号を介さずにアクセスできる道路の計画を検討すべき。
- ・庁舎整備についての委員会と認識しているが、議論の中で話が飛躍し過ぎているところが多々ある。交通網の整備や道路整備については、本来であれば、都市計画マスタープラン等上位計画の委員会で議論すべき内容かと思う。今は、現庁舎敷地での建替え案を軸に検討を進めながら、別の視点があればこちらから提示して進めるべきかと思う。
- ・費用負担が少なく、使い勝手の良い庁舎としてほしい。市民から見て憧れられる職場を目指すべき。ソフト面での戦略を持たないと、中身が以前のままとならないようにする必要がある。

7. その他

次回会議日程 3 月を予定している。詳細は別途案内する。